



警報通信器 ボタン式

- 侵入、火災、非常通報等の信号を使用して警報盤に送り緊急通報を行うための装置です。
- ペンダント型送信器を1回押すと信号はホールドされ警報が鳴り、再度送信器を押すと警報は解除されます。
- システムコードの設定スイッチを変更することにより混信を防ぐことができます。

本体 表



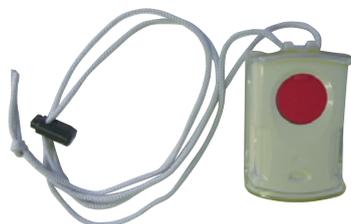
本体 内部



仕様

商品コード	R8P B0100 001	
呼称	無線ボタン式警報通信器	
メーカー	アクティオ(オプテクス)	
型式	送信器(WBP-50 III)	受信盤(WLR-100S)
電源電圧	リチウム鉛電池 CR2032 × 2個 DC3V	AC100V
送信出力	10mW	-
消費出力	-	130mA
標準電波到達距離	約100m	-
標準受信距離	-	100m
混信防止	128通り	
使用温度	-10~40℃	0~40℃
寸法	全幅 W	44mm
	奥行 D	30mm
	全高 H	64mm
質量	約50g(電池含まず)	

送信器

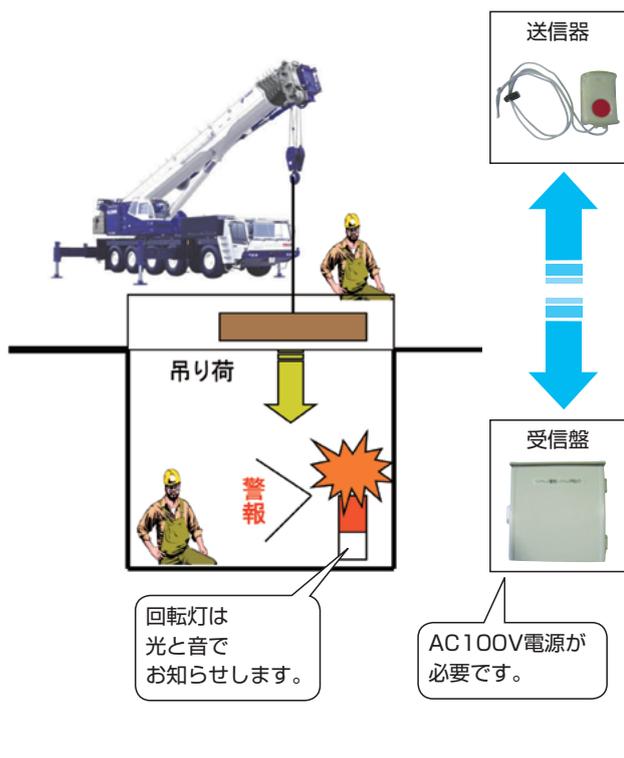


用途

- 立坑クレーン作業・荷降ろしの地下作業員への警報に。
- 現場ゲートで車両の出入の歩行者等への警報に。

使用例

- 立坑クレーン作業・荷降ろしの地下作業員に対する警報



付属品

- ・ 回転灯警報機 (接続ケーブル10m)
- ・ AC100V 電源ケーブル5m



※ケーブル延長は別途販売になります。

ペンダント交換時の設定方法

ペンダント型送信機を交換した場合の初期設定

- 1 図1の様にケースから本体を取り出しフタを開けます。



図1

- 2 本体の中央にあるスイッチを交換前の送信機と同じに合わせます。
- 3 確認終了後、送信機をケースに戻します。

- 4 交換した送信機を、受信機に登録します。
送信機のボタンを押し、図2の受信機の中央のスイッチを上にもどかし、登録側にします。ピーッと音がして液晶パネルの数字の点滅を確認したら受信機のスイッチを元の位置に戻し、送信機のボタンを切りにすれば登録完了です。

[a. 待機状態表示]

この表示は、通常モードで受信待機状態を表示しています。表示部をくるくるとスクロールする「▼」(バー)で通電していることが確認できます。



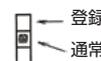
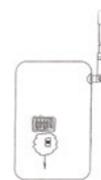
[b. 送信機の登録数表示 / 登録モード表示]

この表示のときは、ループごとの送信機の登録数 WLR-400: 最大15台、WLR-100: 最大31台 を表示しています。システムに異常やアラームのメモリ(履歴)がなければ、通常モード時に【チェックボタン】を押すとこの表示(約10秒)になります。

又、【モードスイッチ】で登録モードにしても、この表示になります。

※WLR-400の場合、1桁の表示になりますので、10台以上の数については、アルファベットでの表示 (A: 10、B: 11、C: 12、D: 13、E: 14、F: 15台) となります。

受信機



登録

通常

登録スイッチ

図2